

## 第6回

【日 時】 平成25年10月19日（土）

【場 所】 石巻専修大学 5号館保育実習室

【テーマ】 『野球を通じて育てたいもの』

【講 師】 水沼 武晴 氏 （宮城県石巻商業高等学校 教諭）

【使用したテキスト】

- ・『耕人』H25\_6.pdf （塾長から塾生へのメッセージ：第6号）

### 【活動内容詳細】

#### 18：30 開会の挨拶（木村塾長）

概要：塾長は、『耕人』第6号に記載してある「耕人塾」実践10項目を基にして、「10項目のうち、2つか3つを選んで、自分の言葉で書き直し、机の前に貼って実行してみてください。」と、塾長は述べました。

さらに塾長は、「今回の講師先生を石巻商業高校の水沼先生にお願いしたのは強い願いからです。」と述べ、「石巻工業高校が甲子園に出たとき、石巻商業高校は惜しくも負けました。しかし、次の朝、私が車で石巻商業高校の脇を通ったら野球部の部員が黙々とトレーニングをしていました。その姿を見て、水沼先生は野球の指導だけではなく、人間としてのあり方を指導していると感じ、ぜひ耕人塾でお話をいただきたいと思っていました。」と水沼先生のご紹介をしました。



#### 18：40 『耕人塾宿泊研修の報告』

概要：宿泊研修の1日目に体験した「挨拶を極めよう」の実践を、宿泊研修に参加できなかった塾生も交えてのあらためて行いました。

はじめに、宿泊研修で素晴らしい挨拶を行ったペンギンチームがデモンストレーションを行い、続いて各班に分かれて挨拶の練習をしました。ゲーム性のある挨拶の練習をしていく中で、塾生の顔が自然と笑顔になり、声も大きくなってきました。



19：00 ショート講話『野球を通じて育てたいもの』

講師の水沼武晴先生から、はじめに6年前の石巻商業高等学校野球部の様子や最近5年間の野球部の活躍についてお話しいただきました。



次に水沼先生は、「このような成績を取めることができたのは、プロの指導者に教えてもらったからでもなく、私立高校のように選手を集めたからでもありません。挨拶や学校生活をしっかりやったことで、野球の神様が勝たせてくれたのだと思います。」と述べました。



そして、水沼先生は、「このように挨拶や学校生活をしっかり行うことで、生徒は、野球や生活に対する姿勢が変わってきました。部活動開始の時間や表情、そして先生方からの信頼や評価が高まりました。」と述べ、「6年前は、甲子園を目指すと言っても誰も信じませんでしたが、今は誰もが甲子園を目指すと言っています。」と付け加えました。



#### 19:35 班別討議

水沼先生が伝えたかったことは何かについて班別に話し合いました。

今回は指導補助委員の石巻専修大学大学生にも班別討議に入ってもらいました。大学生が討議に入ること、塾生はより多くの気づきを促されたようでした。



#### 19:50 全体学習

各班ごとに自分たちで話し合っ発表者を決め、話し合ったことを発表しました。

今回は、塾生である中・高校生、指導員補助の大学生、指導委員や運営委員の先生方、そして参観していた保護者の皆さんに発表していただきました。

世代を超えて自ら進んで発表する姿に、会場から割れんばかりの拍手が鳴り響いていました。





## メニュー

ホーム



耕人塾の活動



令和2年度の活動



令和元年度の活動



平成30年度の活動



平成29年度の活動



平成28年度の活動



平成27年度の活動



平成26年度の活動



平成25年度の活動



第1回

第2回

第3回

第4回

第5回

第6回

第7回

第8回

第9回

第10回

第11回

修了式

平成24年度の活動

